

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	野池親水公園整備事業
事業主体 (連絡先)	野池区
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	4,081,000 円 (うち支援金: 2,720,000 円)

事業内容

一昨年および昨年度の第2・第3公園造成に続き、第3期工事として観光カンバン、案内カンバン、注意カンバンの設置、緊急避難小屋「いこいの家」を築造、第3公園導入路の舗装、公園内外の倒木やゴミの撤去作業、区画整理作業、第1公園内通路の砂利敷工事を実施した。地域住民も協同作業として、小屋作りや区画整備、環境整備作業に延べ120名以上が参加し、より良い安全でキレイな公園作りに取り組んだ。利用者満足度の向上で、コロナ禍後の来園者の増加が期待できる。



【築造した緊急避難小屋】

【目標・ねらい】

- ①地区民の協力を得て新たな公園を造成・整備することで公園に愛着を持って利用してもらう。
- ②子供たちの自然教育の場、家族のコミュニケーションの場としての役割を担う。
- ③来園者の満足度向上、利用者増

事業効果

- ①地区住民の協力もあり大変すばらしい公園を造成することができた。公園に愛着を持ってもらうことで、夏場地区民の多くが積極的に親戚等帰省客を親水公園に案内して川遊びやバーベキュー等で楽しむことができるだけでなく、春・秋のシーズンも多くの利用客が訪れ楽しむことができるようになった。
- ②多くの利用客が家族や子供を連れての来園であり、自然とのふれあいや家族のコミュニケーション増進に役立つことができ、子供に自然の楽しさやすばらしさを体験することで、地域への愛着を持ってもらうことができる。
- ③来園受入可能者数はこの3年間の整備事業で3,000人に増加することができた。今年はコロナ禍で地元利用者に限定したが、今後更に多くの利用客で賑わうことができる。

※自己評価【 A 】

【理由】

多くの地区民の協力参加により素晴らしい公園整備を行うことができた。今年はコロナ問題で地区民のみの利用に限定したが、来園者が快適、安全に自然を満喫することができ、自然体験を通じて家族や地域への愛着に貢献することができるようになった。

今後の取り組み

公園整備が整った後には、維持管理体制を整え、有料化観光公園として、来る三遠南信道開通や、リニア新幹線開通に伴う、拡大観光地の1拠点として、さらに来園者の増加を図るべくPR方法を検討し、中山間地区の維持に寄与する大きな計画を立てていく。また、地域住民、保育園、小学校等の利用範囲も拡大され、更に良いコミュニケーションの場として、子供達の情操教育の場としての利用が深まる。地区子供達が公園を利用した、アウトドア環境の中で、飯盒すいさんや川遊び、キャンプファイヤー等の「夏休みお楽しみ会」を実施、親子のふれあいや地域住民とのふれあいを通じて、将来この地区を守って行っていただく子供達に、地域の良さを体感してもらい、公園を通じての地域への愛着と自然体験をしてもらう。